

平成22年度最高裁判所総合評価審査委員会（第3回）議事概要

開催日及び場所	平成22年9月13日（月）最高裁判所中会議室
委員	委員長 深尾 精一（首都大学東京都市環境学部教授） 委員長代理 浦江 真人（東洋大学理工学部准教授） 委員 伊室 亜希子（明治学院大学法学部准教授） 大村 信之（経理局営繕課首席技官） 酒井 孝雄（同 次席技官）
委員からの意見・質問及びそれらに対する回答等	別添のとおり

(別添)

1 技術提案の評価方法について

- (1) 見直し内容について説明
- (2) 委員からの主な意見等は次のとおり

【委員】

提案書式の提案枠数に対して提案数を増減できることが、応募者側には理解されているか。

【事務局】

実際の提案では、枠を調整して提案項目数を増減した提案が提出されていることから、理解されているといえる。

2 名古屋高裁金沢支部・金沢地家簡裁庁舎新営工事の概要について

- (1) 敷地状況、建物概要等について説明
- (2) 委員からの意見等はなし

3 名古屋高裁金沢支部・金沢地家簡裁庁舎新営建築工事の総合評価について

- (1) 当該工事の評価項目（アルミカーテンウォールの施工精度向上に関する提案，2階法廷前廊下における内装仕上げの施工精度向上に関する提案，敷地周辺への配慮に関する提案）について説明
- (2) 委員からの主な意見等は次のとおり

【委員】

評価項目の候補として性能・機能の屋根防水及び雨といの施工品質向上を採らずに、と の性能・機能を特に採られた理由はなにか。

【事務局】

今回は景観に配慮した設計をしているので、アルミカーテンウォールと 内装仕上げを選んだ。

【委員】

屋根防水及び雨といの施工品質向上について提案を求めると設計内容に係わる提案が出る可能性があるので、施工時の監理を重点的に行うことでよいのではないか。

【委員】

雪も多いし、心配なところではあると思うが、設計上考慮されている部分があるか。

【事務局】

建物周囲から中央の方に向かって屋根勾配をつけている。

【委員】

この設計の特徴として、アルミのカーテンウォールの2階と3階の間に、PCの庇が入っている。アルミカーテンウォールの精度向上のために、PCに関する提案があった

場合の評価をどうするかということ、あらかじめ考えておいた方がよい。

【事務局】

アルミカーテンウォールとPCとの取り合うところの提案であれば有効な提案とした
い。

【委員】

施工精度と施工品質とは、受け取る方の感覚が違って来るように思う。施工精度と
いったときの精度の意味は、寸法の話だけなのか、それも含めた品質あるいはその性能
も含めて期待しているのか。

【事務局】

施工品質も含めてということになる。いちばんこちらが求めているものがアルミカー
テンウォールの景観に配慮するということなので、出来映えの精度を意図して、精度と
いう言葉を使っている。

【委員】

施工品質とすると、あまりに広くなり、多くの提案が出る。精度とすると、逆に応募
者のとらえ方による提案に差が出て、あまり技術力を問うということにはならない。

【委員】

精度というのは、寸法どおりに、設計図どおりにつくるという主旨か。

【委員】

狭く言えば寸法が設計図どおりということだが、この場合は、部材が少し倒れている
と、表情として美しさが失われるので、それが全部綺麗にまっすぐに立っていることな
どを指して精度といっている。

【委員】

精度向上を目的として、何を求めているのかを応募者側が考える、その違いによって
提案が違って来る。

【委員】

景観に配慮したアルミカーテンウォールにおける施工精度、というような言い方のほ
うが受け取る方は考えやすい。

【委員】

単純にアルミカーテンウォールの施工精度というと、たわみが1 / 300以内にする
ような努力とかそういう数値的な提案になる。施工品質向上とすると、例えば、色むら
が少ないとか、アルミの、そういうことまで広がってしまう。

【委員】

それを入れると雨漏りとか防水とかというのも入ってきてしまう。

【委員】

設計の特徴である外壁の見え方に影響を及ぼすような、精度の問題ということがわか
るように注書きをいれてはどうか。

【事務局】

景観を考慮したアルミカーテンウォールの施工精度向上に直したい。

【委員】

の括弧の中に、本建物は長大なガラスのカーテンウォールが特徴でありその施工精度が建物の出来映えに影響するということを入れることで良いのではないか。

4 名古屋高裁金沢支部・金沢地家簡裁庁舎新営電気設備（電力）工事の総合評価について

- (1) 当該工事の評価項目（配管配線工事（内部・外部）全般の品質確保に関わる技術提案，電力システムの保守性及び将来の改修に対するフレキシビリティを向上させる技術提案，施工の各段階における品質管理のための施工体制及び試験・総合試運転の確認方法と内容についての具体的な提案）について説明

- (2) 委員からの主な意見等は次のとおり

【委員】

LEDを本格的に使うのは初めてか。

【事務局】

ダウンライト，スポットライトの照明器具についてすべてLEDを使うのは初めてである。

5 名古屋高裁金沢支部・金沢地家簡裁庁舎新営機械設備（空調）工事の総合評価について

- (1) 当該工事の評価項目（ダクト工事の施工品質に関する提案，配管工事の施工品質向上に関する提案，機器の搬入・据付から試運転調整及び測定までを適切，かつ効率的に実施するための具体的な提案）について説明

- (2) 委員からの主な意見等は次のとおり

【委員】

ダクト工事というのは通常，完成検査報告書みたいなものは作らない場合もあるということか。

【事務局】

チェックシートを作っている。

【委員】

2階部分は，この程度の法廷等が入るとなると，階高は通常どれくらいか。

【事務局】

5.5mくらいである。

【委員】

提案されている内容が例えば建築工事に係わるような提案だった場合には，判断が難しい。

【委員】

建築工事に影響してきたときの判断は決めておくのか。

【事務局】

建築工事を変えるような提案は設計に係わることなので、それは有効でない提案ということになる。

【委員】

気流，温度分布シミュレーションで、もし問題があったとすると、何か変えるということか。

【事務局】

温度の分布，風方向について，シミュレーションをすることで，その内容を施工図に反映できるため有効な提案と考えている。

【委員】

ダクト工事に関して，建築工事にに関わりなく設備工事の範囲内であれば，それは提案として受け入れられる。

【委員】

がダクト工事の施工品質に関する提案で， が配管工事の施工品質向上に関する提案で，向上という言葉があるのとないのがあることは，なにか意図があるか。

【事務局】

意図はない。 のダクト工事の施工品質の後に「向上」が抜けていたので訂正する。

6 総合評価方式による発注工事の実施状況について

- (1) 鹿児島地家裁加治木支部庁舎新営建築工事の実施状況について説明
- (2) 委員からの意見等はなし

7 その他

- (1) 発注スケジュール等について説明
- (2) 委員からの意見等はなし